

## 2019年度 第4回 明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会

### 議事概要

日時:2019年(令和元年)12月2日(月)14:30~16:30

場所:明石市役所 議会棟 2階 大会議室

#### 1. 開会

#### 2. 議事(1)関係機関等の取組のご紹介

～資料①～

委員)

資料①-1の説明

会長)

昇降式ホーム柵の導入によって、ホーム柵の新設スピードが格段に上がった。  
明石市内に導入していただいたこと、大変感謝したい。

事務局)

資料①-2の説明(代読)

会長)

インターホンによる筆談対応は、聴覚障害者の方々には待望のシステムである。  
継続改善が必要なので、不具合な点は本協議会で随時、意見をいただければと思う。

委員)

資料④に基づいて、兵庫県の関連施策について説明する。

12頁、(3)②兵庫県「チェック&アドバイス制度」の活用について、明石市では明石駅前広場、国道2号線を渡る横断デッキ、(仮称)ユニバーサルツーリズムセンター等において本制度を活用した。

14頁、(1)②旅客施設の移動等円滑化、③ホーム上での安全対策の実施について、県においても、交通事業者等と協力のもと、安全対策や駅のバリアフリー化について、補助等の支援を行っている。

19頁、(4)④兵庫ゆずりあい駐車場、P23、(1)バリアフリーマップの作成・活用について、今後も明石市と連携して取組を進めていきたい。

27頁、2. ユニバーサルデザインのまちづくり推進モデル地域について、同様の取組として、H22 から「ユニバーサル社会づくり推進地区」として、県内の各地区を指定し、バリアフリーの推進、PRの実施、スロープなどの整備に対しての助成などを行っている。

会長)

19頁、(4)④兵庫ゆずりあい駐車場について、車いすマークの駐車スペース「以外」に、基準である3.5m以上の幅がないが、多様な人が使えるスペースをゆずりあい駐車場として設定することが本来であるので、誤解のないようにお願いしたい。

委員)

資料①-3の説明

副会長)

昨年度にJR・山陽明石駅周辺のバリアフリーチェックをした際に、明石公園にあるトイレが夕方5時以降は鍵がかかっており利用出来ないとの報告があった。ハードの改善と共にソフトの改善もお願いしたい。

委員)

資料①-4～①-5の説明

会長)

ユニバーサルマナー検定は素晴らしい取組であり、引き続き実施をお願いしたい。

パピオスビジョンについては、情報ビジョンであり、色々な活用方法があるので、行政、住民と協力し、発展できるようにお願いしたい。

委員)

資料①-6の説明

委員)

写真をベースに情報提供することは、当事者の方からもニーズが高いことである。

ユニバーサルツーリズムは、明石の魅力を再発見するものでもあるので、地域の障害当事者の方々の協力を得ながら、新しい魅力発見を進めていただければと思う。

委員)

資料①-7の説明

会長)

障害者や高齢者プラン等の地域福祉計画についても、機会があれば委員の皆様には情報提供をいただきたい。福祉以外の方々にもご理解いただくことが重要である。

委員)

JR のホーム柵について質問したい。JR 明石駅は新快速・特急の停車する3、4番ホームに、JR 西明石駅は普通電車の停車する5、6番ホームに設置しているが、その理由を伺いたい。

委員)

過去のホームからの転落件数などを参考に、設置する乗り場の優先順位を決めている。

現在の設置予定箇所以外のホームについても順次、関係者等の意見を聞きながら検討していきたい。

### 3. 議事(2)2019 年度第 3 回協議会及び追加ヒアリング時にいただいたご意見

#### 議事(3)明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画(仮称)(修正案)

～資料②～⑤～

事務局)

資料②～⑤の説明

会長)

本協議会の開催にあたり、事務局が示した移動等円滑化促進地区(11 地区)に対して、学識委員から基本構想の踏襲版のような促進地区の設定になっていることを指摘した。国のガイドラインにとらわれず、地域や市民の要望に応じた促進地区の設定について、議論したい。

委員)

山陽電鉄林崎松江海岸駅周辺地区について、明石や大久保などの他地区から当該地区へ向かうバスの便数が年々少なくなってき、不便を感じる。総合福祉センターという福祉拠点があり、当事者の方の利用ニーズも高いと感じるので、交通環境という面において改善をお願いしたい。

委員)

パピオスでイベントがある時に光の関係でまぶしく、手話や要約筆記が見にくいことがある。ブラインドをつけるなど、情報保障をするだけでなく、手話等が見えやすい環境づくりについても対応をお願いしたい。

委員)

避難場所である小中学校のトイレは大人の利用が可能か、介助用に出来ているのかなど、各学校のバリアフリー状況についてお伺いしたい。

委員)

ホーム柵の設置などハードの整備はありがたいが、特に知的障害者にとっては人のサポートが重要である。例えば、突発的に電車が止まった時、知的障害者は乗ろうと思った電車が来るまで待つ傾向にあり、文字や音声にて案内があってもそれが理解できない。そこで駅員の方が一言声をかけていただければと思う。交通事業者のみでなく、是非サポートをお願いしたい。

また、先日、神姫バスの運転手の方を対象に知的障害者の疑似体験をしていただいた。参加者の感想では、「知的障害の方は怖いと思っていた」、「どのような対応をしたらよいかかわらなかった」という意見があった。体験を通じて、知的障害者に対する理解が進んだように感じた。バリアフリーはハードとソフトを併せて進めていただきたい。

委員)

前回の協議会で、ストリートピアノの設置をお願いし、その回答をいただいた。ピアノは高価なものなので、無料で弾ける機会があればと思うので、検討を継続してほしい。

また、移動等円滑化促進地区に該当しない山陽電鉄藤江駅など、店が閉店し、さびれている現状があるので、促進地区に該当しない駅の活性化についても検討していただきたい。

委員)

JRのホーム柵が設置されることで期待しているが、何段階のロープ設備か伺いたい。

委員)

JRのホーム柵のロープの張りの強さと、一番下の隙間の大きさを伺いたい。子供だと隙間をくぐったりすることがあり心配なので具体的に教えてほしい。

会長)

手話や要約筆記については、暗くてもいけないが、ご指摘のとおりまぶし過ぎるのも問題。

避難所のバリアフリー状況については、教育委員会等から改めてご提示いただきたい。

知的・精神・発達障害の方々に対する声掛けについては、本計画でも力を入れているので、こちらも強化していければと思う。

ピアノについては、計画に写真として例示できるようなものがあれば、記載いただきたい。

JRのホーム柵についての質問がいくつかあったが、JRから改めてご回答いただきたい。

事務局)

移動等円滑化促進地区に関して、山陽電鉄林崎松江海岸駅についてはバスの本数の減少等がある、山陽電鉄藤江駅については地区の活性化についての検討をとの意見をいただいた。意見のあった対象地区の設定、公共交通の確保という課題も含め、幅広い検討が必要と考えている。

委員)

山陽電鉄西新町駅周辺地区について、移動等円滑化促進区域は 500m が対象となるとのことだが、北王子には兵庫県立大学があり、そのグラウンドがドクターヘリの発着場になっている。また、北側には兵庫県立がんセンター、王子クリニックがあり、その 3 施設がこの地図には入っていない。地元住民としては重要な施設であり、地図に記載を検討いただきたい。

委員)

本計画を参考に、地域福祉計画の策定・改訂を行い、取組を進めていきたい。

山陽電鉄林崎松江海岸駅については、ユニバーサルスポーツの普及を目的に総合福祉センター新館がオープンし、スポーツを楽しむ障害者も増えてきたので、市と協議しながら交通網の充実についても考えていきたい。

委員)

現在、パピオスの市民広場は明石観光協会が指定管理者として運営している。情報保障が「光で見えにくい」というご指摘について、現状を確認し、対応を検討したい。

委員)

これからも障害当事者の方が、快適にまちで買物等ができるよう、インクルーシブな接遇に努めていきたいと考えており、今後もユニバーサルマナー研修等に積極的に参加したい。

委員)

公共交通のご意見については、皆様と一緒に検討していきたい。

道路や公園を利用いただく際の不便についてご意見をいただくことはありがたい。市も意見をそのままにしているわけではなく、何を作るにもユニバーサルデザインの視点は重視しており、職員研修も実施しているため、長い目で見ていただきたい。

委員)

本計画は明石にお住まいの当事者の方の声が一番だと考えている。

ハード整備は着手までに時間がかかるが、着手後も時間がかかり、一度に進められるものではない。計画策定自体が目的ではないこと、優先順位等々考えると、計画のスタートは時期を失するべきではないと考える。ご指摘にあったように充分ではなくとも、今後について本計画の中で触れている点からすると、中身の検討と計画のスタートの時期のバランスを並び立て、同じ重さで考えて行かなければならないと考える。

委員)

必要な交差点に音響付信号やエスコートゾーンの整備を検討していきたい。

事務局)

特に地区設定についてご意見をいただいた。山陽電鉄西新町駅周辺地区には市内でも重要な拠点である病院等があり、地元にとっての重要性についてご意見をいただいた。地域にその施設があるということが分かるよう、面的な図示の方法について、再度検討したい。

委員)

ホーム柵についてはいくつかご質問いただいているので、改めてご説明したい。

ダイヤ乱れ等、異常時の様子が掴みにくい方へは、駅員からの積極的な声かけをお願いしたいというご意見があった。ご利用する方が選択できる情報をアプリや Twitter 等で情報提供しているが、それだけでは把握が難しい方がおられることを改めて認識し、人的制約はあるが積極的な声掛けを進めていきたい。

障害の理解研修が効果的だということであった。JR ではグループ会社の障害者社員から鉄道利用においての意見を参考に取組んできた。今後は更に多くのご意見を参考にしたい。

委員(代理))

UD タクシーの導入を各会社で計画しており、順次、運行が増えていく予定である。

委員(代理))

待合室、船内も点字ブロックの設置等、誰にでも気持ちよく利用出来るようバリアフリー化に向け取り組んでいる。

委員(代理))

道路において、国道などの「線」だけの整備だけではなく、「面」の整備を目指し、明石市と連携して整備を進めていきたい。

委員)

ユニバーサルデザインのまちづくり推進モデル地域は、ユニバーサル社会づくり推進地区との連携を十分に活用できるのではないかと考えている。

また、会議内容が丁寧に資料反映されており、他市町に明石市の先導的な取組が波及するよう情報発信していきたい。

委員)

今後、整備にあたり予算面でも課題が出てくると思う。関係機関等と調整し、効率的・効果的な整備を、地域にお住まいの方を最優先に考え進めていきたい。

事務局)

本日欠席委員より、書面にて意見を預かっているため報告する。

資料④、24 頁、(4)市内のバリアフリーの取組事例の紹介について、良い事例を当事者が取材し、記事にして発表するといった取組が行われれば良い。また、バリアフリーについての好事例を蓄積し、伝え、発信することをデータベース化し、「見える化」することが必要ではないか。

明石市で行っている道路モニター制度について、市内の道路を利用している市民の方々から、道路の穴ぼこ等の安全面に対する指摘に加え、バリアフリーの観点から市に意見をあげていただければ良いのではないか。

促進地区の設定について、市内では松が丘地区や江井ヶ島地区においてバリアフリーに関する取組が古くから行われている。バリアフリーに関する地域活動が行われている地区を移動等円滑化促進地区に設定できないか検討いただきたい。

会長)

最後の点が、地区選定に関わる話として重要なところである。住民の動きがあるところは促進地区として位置づけたいということで、特に松が丘についてのご意見があった。

委員)

丁寧に策定プロセスを踏んでおり、32 頁までの計画論については他に類を見ない素晴らしいものとして評価している。ただ、マスタープランは基本構想に向けて、次のデザイン論に結びつけていかなければならない。具体の事業については来年度以降となるが、そこへ繋ぐ促進地区については、本日、山陽電鉄林崎松江海岸駅や山陽電鉄西新町駅について住民目線のご意見をいただき、非常に貴重であったと思う。他の促進すべき地区や、大塚委員からご提案のあった松が丘も含め、出来る限り住民目線でのご意見を反映したものにブラッシュアップしたうえで、まとめていただきたい。

また、市域の中で南北に深みがあるエリア、大久保や王子周辺、朝霧等、駅から離れたところでも重要なところはないのか、高齢化する中で市域全体のバリアフリー化するうえで必要なところはないかという視点で、市民の方に再度チェックいただきたい。

委員)

資料④、32 頁の移動等円滑化促進方針と基本構想の作成イメージについて、E地区・旅客施設を含まない生活拠点と書かれている部分であるが、駅から離れた飛び地も促進地区に出来る、具体的な事業の調整がついていなくても地区設定出来るということである。今回、それが示され、促進地区のイメージが膨らんだように思う。

兵庫県立がんセンターや松が丘地区、江井ヶ島地区等が具体的に提案が上がっているので、市民のニーズがあるところをどう増やしていけるのかを検討していただきたいし、そこに明石らしさがあると思う。

19 頁、①学校等の公共施設のバリアフリー化の促進について、学校を強調していただいた。避難所となる学校は、身近な場所であるのにバリアフリーになっていないところがあり、これを全市方針として出すことはすごく良いことだと思う。

促進地区の地図プラス、全市方針を進めればこんな街になる。学校は安心していける場所で、駅と駅前だけでなく明石市全体がどんな街になるかをイメージできるような示し方を工夫いただきたい。

委員)

地元の方、まちづくり協議会にご協力いただきたいのだが、34 頁の朝霧駅周辺地区については、ここの住民のための促進地区なのかという視点で見た時、本当にこの区域でいいのかご検討いただきたい。

会長)

34 頁の朝霧駅周辺地区について。区域が大蔵海岸だけになっている。住宅地から海岸につながるような区域設定の工夫をお願いしたい。ここは防災面でも、海岸から山側への避難、逆に海側は地震等の避難空間としての可能性が考えられるので、大蔵海岸と北側の住宅地は親密な関係にあると思う。

事務局)

ご意見は受け止め、対応方針について検討したい。

特に、促進地区の設定については、優先的にバリアフリー化が必要な地区として設定を行うという考え方のもと、ご意見いただいた地区について検討を進めたい。また、学校の取扱いや地域の中で重要な施設をどう示していくのかを考えたい。まちづくり協議会単位で進めているところが明石の特徴だと理解しているので、それを後押しするようなモデル地域という新しい枠組みも提案させていただいている。そこを含めて改めて検討していきたい。

ご意見は多岐にわたるので、再度、修正案をお示しできる機会ができないか考えている。一方で、早く進めてほしいというご意見もいただいているので、時間と検討内容について精査し、改めてご連絡させていただく。

会長)

時間的に追いつかないところもあるので、もう 1 度、お集まりいただく可能性もあるが、会長含め事務局と相談させていただく。

4. 閉会

以上